

## ＜「2022 年度版日本語教育の樹形図」に関する Q & A＞

「2022 年度版日本語教育の樹形図」に関して次の 2 つのご意見、ご質問がありました。以下に回答いたします。

Q 1 :

「2022 年度版日本語教育の樹形図」に反映されていない日本語教育の実践現場や研究分野があるのではないのでしょうか。

A 1 :

「2022 年度版日本語教育の樹形図」は、2017 年と 2018 年に開催されたワールドカフェの島（グループ）で話し合われた内容の記述をもとに作成されています。これらのワールドカフェは、日本語教育学会の支部集会において対面で行われました。そのため、例えば、海外の日本語教育に携わっている人の参加が非常に少なく、海外の日本語教育に関することは樹形図の項目として書き込むだけの記述が得られませんでした。「2022 年度版日本語教育の樹形図」は、日本語教育の現場や分野を網羅的に記述したものではなく、あくまでも、2 回のワールドカフェで収集できた記述をもとに作成されたものであることをご理解いただければと思います。

Q 2 :

細い枝の中には、分類されている太い枝（大項目）とは関係がなさそうなものがあります。なぜ、関係のなさそうな太い枝に分類されているのでしょうか。

A 2 :

「2022 年度版日本語教育の樹形図」は、2017 年と 2018 年に開催されたワールドカフェの島（グループ）で話し合われた内容の記述をもとに作成されています。太い枝はその島で話し合いのテーマとして設定されたものに関連づけられており、細い枝はそのテーマのもと話し合われた内容の記述から作成されています。一見関係のなさそうな内容であっても、その島のテーマのもとに話し合われた内容であるため、島のテーマに関連づけられた太い枝に分類されています。

※「2022 年度版日本語教育の樹形図」の作成プロセスに関しては、「ワールドカフェの開催と「2022 年度版日本語教育の樹形図」作成について—ツールとしての活用に向けて—」に詳しく記載されていますので、[こちら](#)もご参照ください。